

# 令和5年度公開授業案内

福島大学地域未来デザインセンター

〒960-1296 福島市金谷川1番地

電話：024(548)5211 FAX024(548)5244

URL: <https://www.111.fukushima-u.ac.jp/>

E-mail: [syogai@adb.fukushima-u.ac.jp](mailto:syogai@adb.fukushima-u.ac.jp)

## 目次

「公開授業」一覧	3
「公開授業」受講手続き等について	4
「公開授業」Q&A	10
「公開授業」内容の紹介	11
「公開授業」曜日・時限一覧	19
個人情報の取扱い	20
福島大学所在地案内図	21
構内建物配置図	22
公開授業申込書	27
令和5年度後期公開授業予定表	28

## 「公開授業」一覧

(できるだけ授業の初回から参加してください。)

後期 10 月開講科目	申込受付 10 月 2 日 (月) ～10 日 (火)	
授業科目名	曜日	時間
英語コミュニケーション A II	火曜日	8:40～10:10
英語コミュニケーション B II	火曜日	10:20～11:50
美術解剖学	水曜日	8:40～10:10
倫理学	水曜日	10:20～11:50
神経・生理心理学 I	木曜日	10:20～11:50
English Presentations II	木曜日	14:40～16:10
物理学 II (電磁気学)	木曜日	16:20～17:50
欧米文化論 I	金曜日	10:20～11:50
システム生理学	金曜日	16:20～17:50

- ◆ 10 月開講科目は 10 月 2 日 (月) から開始されますので、ご希望の授業については、申込締切に関わらず初回から受講してください。
- ◆ 申込後、受講の可否が決定されるまでしばらく日にちをいただきますが、その間も授業に参加してください。
- ◆ 公開授業の受講料は、1 科目あたり 7,500 円または 15,000 円です。(今回は全て 7,500 円の科目となります。)
- ◆ 新型コロナウイルス感染症の流行等により、急遽中止とさせていただく場合があります。(その場合、受講料は全額返金致します。) 予めご了承ください。

## 「公開授業」受講手続き等について

福島大学では、生涯学習ニーズに応えるとともに、地域と大学との連携を深める活動の一環として、本学が開設している正規の授業を「公開授業」として開放しており、2003年より継続しています。市民のみなさんも、これを機にキャンパスライフをご体験ください。

なお、公開する授業の受講にあたっては、受講生として登録していただく必要があります。受講を希望する授業については、できるだけ初回授業に参加の上、お申込みください。申込みから受講の可否が決定されるまでしばらく日にちをいただきますが、その間も授業は進行しますので、継続して授業に参加してください。

### I 公開授業の概要について

#### (授業公開科目等)

1. 開放する授業科目の詳細は、P11～22のとおりです。授業の難易度は、授業の内容に応じて、次の3段階に区分しています。

**難易度A**：入門的な内容であり、高校卒業程度の学力を必要とするもの（大学1年次生対象の授業相当）

**難易度B**：より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの（大学2年～3年次生対象の授業相当）

**難易度C**：高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの（大学3年～4年次生対象の授業相当）

※公開授業の受講生には、単位の認定は行いません。

#### (公開授業期間)

2. 公開期間は下記の通りです。

**10月開講科目公開期間** 2023年10月2日（月）～2024年2月5日（月）

※12月25日（月）～1月4日（木）は冬季休業のため、授業はありません。

授業時間は90分です。

時 限	1	2	3	4	5	6	7
時 間	8:40 ～ 10:10	10:20 ～ 11:50	13:00 ～ 14:30	14:40 ～ 16:10	16:20 ～ 17:50	18:00 ～ 19:30	19:40 ～ 21:10

※ 受講を希望する授業にはできるだけ初回から継続して参加してください。申込みから

受講の可否が決定されるまでしばらく日にちをいただきますが、その間も授業は進行しますので引き続き参加してください。

#### (正規試験期間・補講期間)

#### 3. 正規試験期間・補講期間

**後期 10 月開講科目** 2024 年 2 月 6 日 (火) ~2024 年 2 月 15 日 (木)

この期間に正規試験が実施されます。なお、公開授業受講生は正規試験を受けることはできません。また、この期間に補講が実施される科目もあります。この期間の授業時間は以下のとおり通常の時間とは異なりますので、ご注意ください。

時 限	1	2	3	4	5	6	7
時 間	8:40 ~ 10:10	10:25 ~ 11:55	12:45 ~ 14:15	14:30 ~ 16:00	16:15 ~ 17:45	18:00 ~ 19:30	19:45 ~ 21:15

#### (みなし曜日、全学行事による休講)

4. 祝日等の関係で授業回数が不足する曜日の科目については、授業回数が確保されている別曜日に授業を実施することがあります(「みなし曜日」制度)。今年度は以下の日程で「みなし曜日」が実施される予定ですので、ご注意ください。

#### 後期 10 月開講科目

11/1 (水) : 水曜日ですが、金曜日の授業を実施します。

11/21 (火) : 火曜日ですが、木曜日の授業を実施します。

また、全学行事のため、以下の日程で授業が休講になる予定です。

10/26 (木)、10/27 (金)、1/12 (金)、1/13 (土)

#### (募集人員)

5. 原則として 1 科目につき先着順で 5 名以内とします (3 名以内の授業もあります)。なお、正規の授業の一部を開放し、本学の学生と一緒に受講していただくことから、教室の収容能力の関係等で、次のような場合は受講できないことがありますのでご了承ください。

- (1) 事情により当該授業科目が開講されない場合 (本学の学生の受講がない等)
- (2) 当該授業の担当予定教員が変更となった場合
- (3) 本学の学生のみで当該科目の想定適正人員 (教室収容人数等) を超えた場合
- (4) その他やむをえない事由

また、申込者が定員を超えた場合、受講許可にあたって、新規申込者を優先する場合があります。

## II 受講手続

### (受講申込み)

1. 巻末「公開授業受講申込書」に必要事項をご記入の上、郵送または FAX でお送りいただくか、Eメール（題名に「公開授業申込」と明記し「受講申込書」と同内容を記載）にてお申込みください。お申込み先は P8 をご覧ください。

電話によるお申込みは、聞き違い等の防止のため受け付けておりませんのでご了承願います。 申込締切後、受講可否の結果は郵送にて連絡いたします。

※ 受講を希望する授業にはできるだけ初回から継続して参加してください。 申込みから受講の可否が決定されるまでしばらく日にちをいただきますが、その間も授業は進行しますので引き続き参加してください。

申込受付期間 10月開講科目：2023年10月2日（月）～2023年10月10日（火）必着

### (受講内定通知の送付)

2. 受講内定者には「受講内定通知書」を郵送いたします。受講できない場合にも郵送でお知らせいたします。

なお、本学の学生の受講動向が確定した後に受講の可否が決定されますので、内定通知がお手元に届くまでしばらく日にちをいただくこととなりますが、ご了承願います。 また、先述のとおり、受講内定通知が届くまでの間も授業は進行しますので、通知を待たず授業に参加し続けてください。（ただし、受講内定にならなかった場合は、それ以降の参加はできません。）

### (受講料の納入)

3. 事故防止のため大学での現金収納は行っておりません。

「受講内定通知書」を受け取った後、受講料を内定通知に同封のご案内に基づき、銀行の窓口、または ATM にてお振込み願います。

納付後の受講料は返還できませんのであらかじめご了承願います。

受講料納入の際の振込手数料、受講生様が授業で使用するテキスト代及び授業に係るその他の費用は受講生様のご負担となります。

## III 受講に際して

### (受講証の交付)

1. 受講料を納付された方には、随時「受講証」を郵送します。「受講証」に顔写真を貼付し来学する際は必ず携帯され、授業時間中は机上の見やすいところに置いてください。 受

講証が到着するまでの間は「受講内定通知書」を受講証代わりにご利用ください。

#### (来学方法等)

2. 自家用車で来学される場合は、入構ゲートで「入構券」を取得してください。また、駐車料金の無料化を希望される方は、上記の「受講証」と「入構券」を警務員室（入構ゲート脇）に提示してください。ただし、「受講証」が発行されるまでの期間（授業開始から約1か月）については、公開授業の「受講証明書」で代替することとしています。「受講証明書」は経済経営学類棟3階 研究・地域連携課事務室（312号室）にて交付しますので、誠にお手数ですが、ご来室ください。（申込受付期間中は、申込の有無に関わらず希望者全員に証明書を交付いたします。）

なお、駐車場内における事故・盗難等について、大学側では責任を負いかねますので十分お気をつけください。

#### (附属図書館の利用)

3. 附属図書館ホームページをご確認ください。 <https://www.lib.fukushima-u.ac.jp/>

#### (受講生の呼び出し等)

4. 授業中その他受講生の呼び出し・取次ぎ・伝言等には対応できかねますので、あらかじめご了承ください。また、授業中は、携帯電話の電源をお切りください。

#### (受講生の義務等)

5. 受講生は、受講にあたり本学が行う教育及び研究に支障が及ぶことがないよう努めていただくとともに、授業担当教員の指示に従ってください。また、必要に応じて手指消毒を行う、発熱等がある場合は出席を見送る等、感染症対策にもご協力をお願いします。

#### (受講の停止)

6. 受講生が義務に違反し、本学の秩序を乱し、又は受講生としてふさわしくない言動があった場合、受講を停止することがあります。

なお、受講停止の場合であっても、受講料は返還できません。

#### (原状回復等)

7. 受講生が、故意又は過失により本学の施設、設備等を破損したときは、速やかに届け出るとともに、自己の責任においてこれを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければなりません。

## IV その他

### (授業について)

1. 初回はガイダンス等で授業内容に入らない場合もあります。
2. 担当教員の都合等により休講となる場合があります。また、補講を行う場合もあります。休講・補講等の日程については、4. 及び5. を参照願います。
3. 教室は、「公開授業内容の紹介」に記載しています。L3 (L 講義棟 3 番教室)、M24 (M 講義棟 2F24 番教室)、S13 (S 講義棟 1F13 番教室) 等は教室番号です。詳しくは、共通講義棟配置図 (P26) をご覧ください。また、事情により教室が変更になる場合があります。

### (休講・補講の確認方法について)

4. 休講・補講の連絡は、科目により S 棟 2F の掲示板にて学類ごとに掲示されます。共通講義棟配置図 (P26) により確認願います。なお、講師の急病等により急な休講もあり得ますのであらかじめご了承ください。
5. 休講・補講・教室変更情報は、4. の学内掲示板以外に、インターネットに接続している PC から確認することができます。

福島大学 授業・履修案内 <https://kyoumu.adb.fukushima-u.ac.jp/>

※「公開授業情報」の項をご覧ください。

学内掲示板にのみ情報が掲載される場合がございますので、ご注意ください。

### (新型コロナウイルス感染症等について)

7. 新型コロナウイルス感染症の流行等により、急遽中止とさせていただく場合があります。(その場合、受講料は全額返金致します。) 予めご了承ください。

## V 問合せ・申込み先

地域未来デザインセンター事務担当：研究・地域連携課社会連携係

電話：024 (548) 5211 FAX：024 (548) 5244

〒960-1296 福島市金谷川1番地 Email：syogai@adb.fukushima-u.ac.jp

ホームページ URL：https://www.111.fukushima-u.ac.jp/

受付時間 9:00～17:00 (土・日・祝日、12/29～1/3 の年末年始一斉休業期間を除く)

受講証の様式

福島大学公開授業受講証	
下記の者は、公開授業の受講生であることを証明する。	
授業科目名	
氏名	
写真  (3cm x 3cm)	年度 前期・後期  年 月 日発行
福島大学地域未来デザインセンター	

- ※ 顔写真（3 cm×3 cm）を貼付してください。
- ※ 授業時間中は担当教員が確認できるよう机上の見やすいところに置いてください。
- ※ 地域未来デザインセンターの印がないものは無効です

## 「公開授業」Q&A

**Q 1 : 誰でも受講できるのでしょうか。**

高等学校卒業程度の学力があれば、性別、年齢、学歴を問わず、どなたでも受講できます。

**Q 2 : どのような科目が公開されるのですか。**

学生が受講している基盤教育科目、専門領域科目（人間発達文化学類・行政政策学類・経済経営学類・共生システム理工学類・食農学類）及び現代教養コース科目の中から公開されます。

**Q 3 : 授業の難易度について**

授業の内容に応じて、3つに区分していますので参考にしてください。

A : 入門的な内容であり、高校卒業程度の学力を必要とするもの（大学1年次生対象の授業相当）

B : より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの（大学2～3年次生対象の授業相当）

C : 高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの（大学3～4年次生対象の授業相当）

**Q 4 : 受講料は**

受講料は、1科目7,500円または15,000円です。

**Q 5 : 授業はいつから参加できますか。**

申込をする前に初回の授業から参加することが可能です。できるだけ初回の授業に参加してください。

**Q 6 : 申し込んだ後、特に通知がないのですが、この間は授業を受けてもよいのですか。**

はい。受講内定通知（P9参照）が届くまでの期間は、いわゆる「お試し期間」となっていますので、申込後は通知が届くまで継続して授業に参加できます。ただし、受講できない旨の通知が届いた場合は、その後の授業には参加できません。

**Q 7 : 教科書を購入する必要がありますか。**

テキストが指定されている科目もあります。このパンフレットの授業内容欄で確認のうえ、担当講師と相談し、福島大学生協などで購入されることをお勧めします。

**Q 8 : 単位の取得が可能ですか。**

単位の取得はできません。もし、単位取得の希望がある場合には、「科目等履修生」の制度を利用して取得することができます。詳しくは教務課教務企画係（電話：024-548-8053）にお尋ねください。

**Q 9 : 試験はありますか。**

試験を受けることはできません。科目によっては、各授業時に小テストが実施される場合があります。詳しくは各講師にお尋ねください。

## 「公開授業」内容の紹介

申込み方法は P4～8 をご覧ください。

科目名	英語コミュニケーション AII
科目区分	専門教育科目（行政政策学類）
教室	行政政策棟 211 演習室
学類	行政政策学類
担当講師	真歩仁 しょうん (Sean Mahoney)
開講時期	10 月～翌 2 月
曜日・時限	火曜日 1 時限
難易度	C
受講料	7,500 円
定員	3 名
授業概要	<p>As this is an English class, it will be in English. We will focus on developing your English speaking and listening abilities through frequent in-class practice. Our goal will be not only to improve those skills, but also to get comfortable enough in English to use it in daily life. Thinking in English rather than translating from Japanese will be emphasised. We will begin with a review of basic pronunciation and simple listening activities, then progress to short conversations and presentations. Outside class, you will keep a journal in which you may practice writing in English about whatever you wish. I assume that students will have taken English Communication (I) in the first semester.</p> <p>参考書(optional) : An A-Z of Common English Errors for Japanese</p>

	Learners. (2008). David Barker. BTB Press. 1,900 yen.
--	---

科目名	英語コミュニケーション B II
科目区分	専門教育科目 (行政政策学類)
教室	行政政策棟 211 演習室
学類	行政政策学類
担当講師	真歩仁 しょうん (Sean Mahoney)
開講時期	10月～翌2月
曜日・時限	火曜日 2時限
難易度	C
受講料	7,500円
定員	3名
授業概要	<p>As this is an English class, it will be in English. We will focus on developing your English speaking and listening abilities through frequent in-class practice. Our goal will be not only to improve those skills, but also to get comfortable enough in English to use it in daily life. Thinking in English rather than translating from Japanese will be emphasised. We will begin with a review of basic pronunciation and simple listening activities, then progress to short conversations and presentations. Outside class, you will keep a journal in which you may practice writing in English about whatever you wish. I assume that students will have taken English Communication (I) in the first semester.</p> <p>参考書(optional) : An A-Z of Common English Errors for Japanese Learners. (2008). David Barker. BTB Press. 1,900 yen.</p>

科目名	美術解剖学
科目区分	専門教育科目（人間発達文化学類）
教室	人間発達文学類美術棟デザイン演習室
学類	人間発達文化学類
担当講師	渡邊 晃一
開講時期	10月～翌2月
曜日・時限	水曜日 1時限
難易度	B
受講料	7,500円
定員	5名
授業概要	<p>「美術解剖学」とは、人体を描く際、必要な基礎知識として得る技能（How to drawing）であり、体表から生体を視察して、身体の特質を知る学問である。</p> <p>本講義では美術解剖学を基底に、人間の「身体」の認識方法や描き方を学び、人間と他の動物との構造、機能の違いを理解していく。</p> <p>また、美術を通じて認識される「身体」は、解剖図譜やプラスチック（人体標本）など、医学によって提示、伝達される「身体」とどのような相関関係にあるのかという問題も提起したい。</p> <p>各設定されたテーマについて、学生はノートを通じて学びを深化させる。</p> <p>担当教官は課題ごとに、教本や解剖図譜、人体模型を通じて指導する。</p> <p>授業の後半部は、実際の人体モデルを通じて Life Drawing を行なう。</p>
科目名	倫理学

科目区分	基盤教育科目
教室	M21
学類	共生システム理工学類・人間発達文化学類
担当講師	樋口 良之・小野原 雅夫
開講時期	10月～翌2月
曜日・時限	水曜日 2時限
難易度	A
受講料	7,500円
定員	5名
授業概要	<p>現代社会は、科学技術依存社会へと変貌しています。産業革命が起こり、発明家、企業が誕生し、今や経済や国家にとって科学技術は不可欠の存在となっています。そのような中で社会倫理も科学技術に携わる者の倫理も変貌しています。このような現代社会の倫理について考察を深めていきます。この授業は、人間発達文化学類の倫理学教員と共生システム理工学類のシステム設計学教員が2人で担当します。文理融合型の授業を目指し、できるだけ多くの事例を通して具体的に考えてもらいます。</p>

科目名	神経・生理心理学 I
科目区分	専門領域科目（人間発達文化学類）
教室	人間発達文化学類棟 208 演習室
学類	人間発達文化学類

担当講師	木暮 照正
開講時期	10月～翌2月
曜日・時限	木曜日 2時限
難易度	C
受講料	7,500円
定員	5名
授業概要	<p>神経・生理心理学の主要なトピックについて、できるだけ幅広く取り上げて解説します（心理と脳神経系との関連性、高次脳機能障害など）。心理学は実験や調査等の科学的方法を用いて経験的データを収集分析することで発展を遂げてきました。この授業でも実際の研究事例に焦点を当てて、その背景や実際の研究方法を中心に解説します。可能であれば授業内で簡単なデモンストレーション、実験調査の体験をしてもらうことも考えています。</p>

科目名	English Presentations II
科目区分	専門教育科目（行政政策学類）
教室	S31
学類	行政政策学類
担当講師	真歩仁 しょうん (Sean Mahoney)
開講時期	10月～翌2月
曜日・時限	木曜日 4時限
難易度	C

受講料	7,500 円
定員	3 名
授業概要	<p>This class will focus on making effective, memorable presentations in English. After a careful coaching on English pronunciation, I will offer model presentations and give advice on how to present well. I assume that students will have completed English Presentations (I) in the first semester.</p> <p>Then we will have a chance to:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) Choose presentation topics;</li> <li>2) Practice listening to presentations;</li> <li>3) Discuss topics from students;</li> <li>4) Practice listening for tests like TOEIC;</li> <li>5) Learn how to get more comfortable with using the English language.</li> </ol>

科目名	物理学Ⅱ（電磁気学）
科目区分	専門教育科目（共生システム理工学類）
教室	L4
学類	共生システム理工学類
担当講師	馬場 一晴
開講時期	10 月～翌 2 月
曜日・時限	木曜日 5 時限
難易度	A
受講料	7,500 円

定員	5名
授業概要	<p>今日の文化的な文明社会において、電気や電波は、必要不可欠なものです。この意味で、電磁気学とは、現代社会において必須の基礎学問の一つであると考えられます。</p> <p>本授業では、静電気学から出発し、静電場、静磁場、そしてマクスウェル方程式と電磁波に至る電磁気学の基本的内容について解説します。</p> <p>高等学校で物理を履修していない学生の方にも理解できるように、高校内容の復習を行いつつ、電磁気学を学ぶ上で必要となる基礎的な数学についても分かりや易く順を追って説明します。</p>

科目名	欧米文化論 I
科目区分	専門教育科目（行政政策学類）
教室	M4
学類	行政政策学類
担当講師	田村奈保子
開講時期	10月～翌2月
曜日・時限	金曜日 2時限
難易度	C
受講料	7,500円
定員	5名
授業概要	<p>フランスを中心としたヨーロッパの文学作品を、時代背景や他の芸術分野との関連から概説します。文学研究の手法にもふれます。扱う作品（予定）は、『ジェイン・エア』、『赤と黒』、『レ・ミゼラブル』、ランボーとボードレールの詩、『ボヴァリー夫人』、『ボヌール・デ・ダム</p>

	百貨店』、『失われた時を求めて』、『最後の授業』、『牝猫』、『異邦人』、『悪童日記』、『冗談』、『日の名残り』などです。作品は英語・フランス語で書かれたものですが、日本語訳の資料を用いますので、原著の外国語はほとんど必要ありません。
--	--

科目名	システム生理学
科目区分	専門教育科目（共生システム理工学類）
教室	M23
学類	共生システム理工学類
担当講師	小山純正
開講時期	10月～翌2月
曜日・時限	金曜日 5時限
難易度	B
受講料	7,500円
定員	5名
授業概要	地球上には、さまざまな生物がさまざまな環境に適応して生きています。彼らは、さまざまな姿・形をそなえ、彼ら独自の方法で生きています。そのような生物の多様性を支えているのは、単細胞生物からヒトにおよぶ、共通の“しくみ”です。本講義では、生き物の命を支える基本的な“しくみ”について、呼吸、循環、エネルギー代謝、体液などを中心に学びます。授業聴講に際して、特別の知識、学力を必要としません。生物について、生命について、疑問を抱いた経験があると望ましいです。

## 「公開授業」曜日・時限一覧

後期科目（10月～翌2月開講）

時限	時間帯	月	火	水	木	金	土
1	8:40～ 10:10		○英語コ ミュニケ ーション AⅡ	○美術解 剖学			
2	10:20～ 11:50		○英語コ ミュニケ ーション B Ⅱ	○倫理学	○神経・ 生理心理 学	○欧米文 化論Ⅰ	
3	13:00～ 14:30						
4	14:40～ 16:10				○ English Presentati onsⅡ		
5	16:20～ 17:50				○物理学 Ⅱ（電磁 気学）	○システ ム生理学	
6	18:00～ 19:30						
7	19:40～ 21:10						

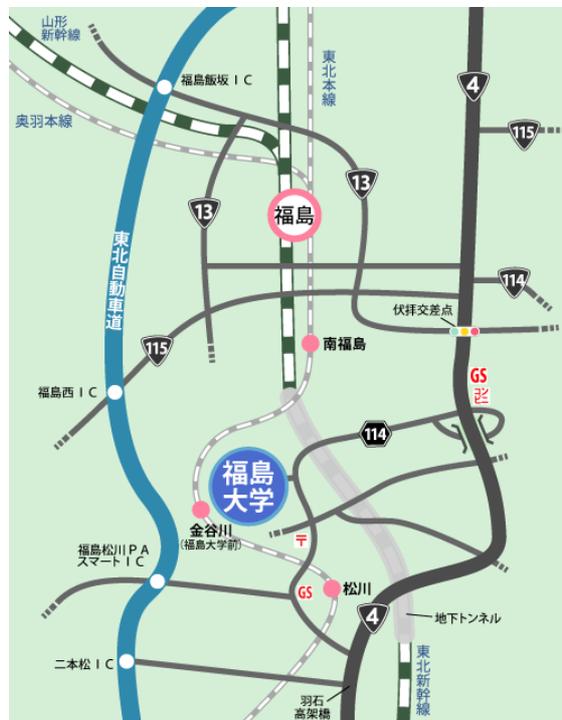
## 個人情報の取扱い

資料の請求及びお申込の際にお知らせいただいた個人情報については、下記の目的の範囲内でのみ利用し、個人情報の保護に関する法律に基づき、その保護に努めます。また、個人情報の保護に関する法律で掲げる事項以外において、本人の同意を得ずに目的以外の利用及び第3者への提供をすることは一切いたしません。

### 【利用目的】

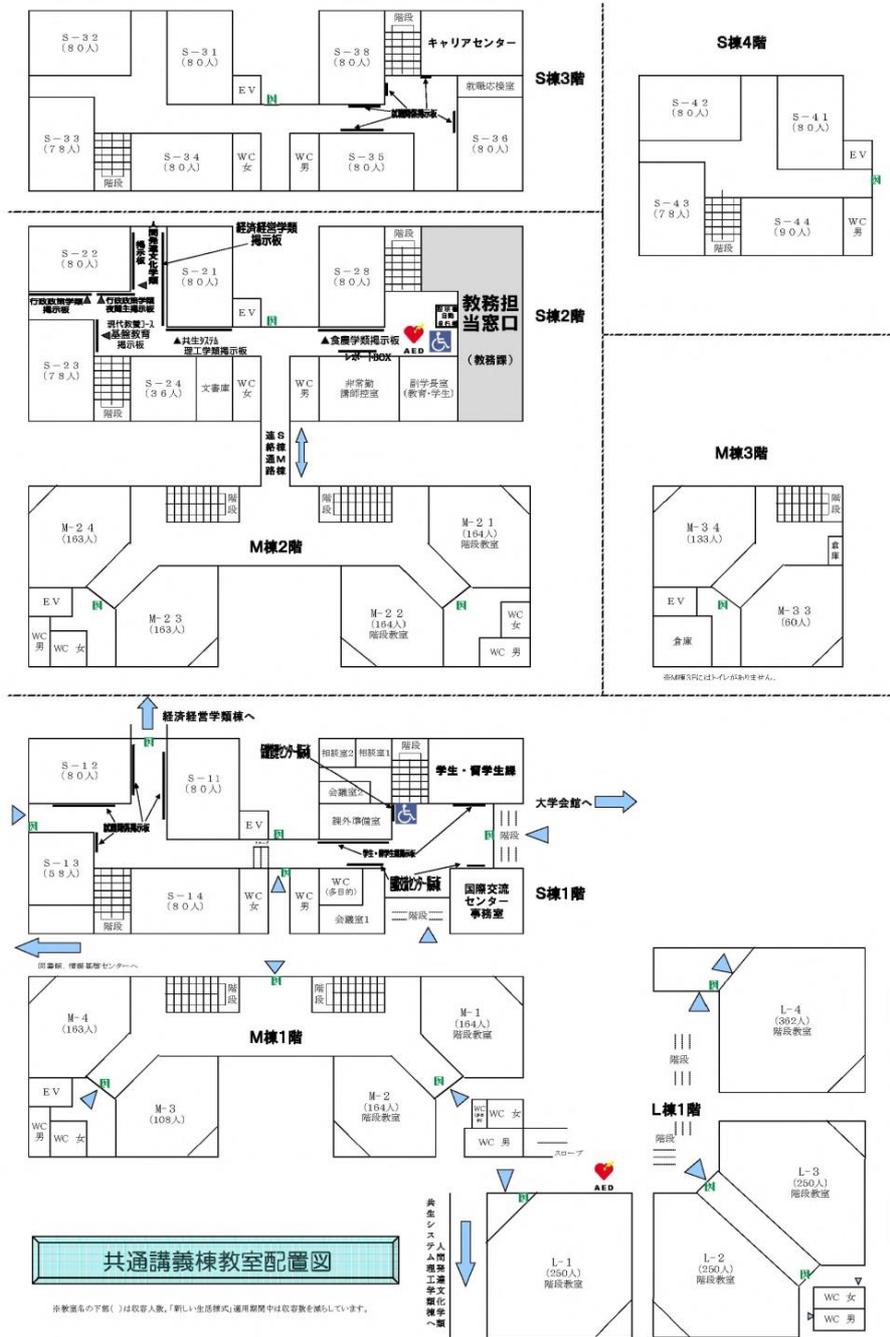
- ・公開講座・公開授業に関する内定・決定通知等、各種連絡に利用します。
- ・次年度以降の講座セミナー案内の送付に利用します。
- ・本学で開催される生涯学習関連講座・講演会等のお知らせ及びアンケート等の送付に利用する場合があります。

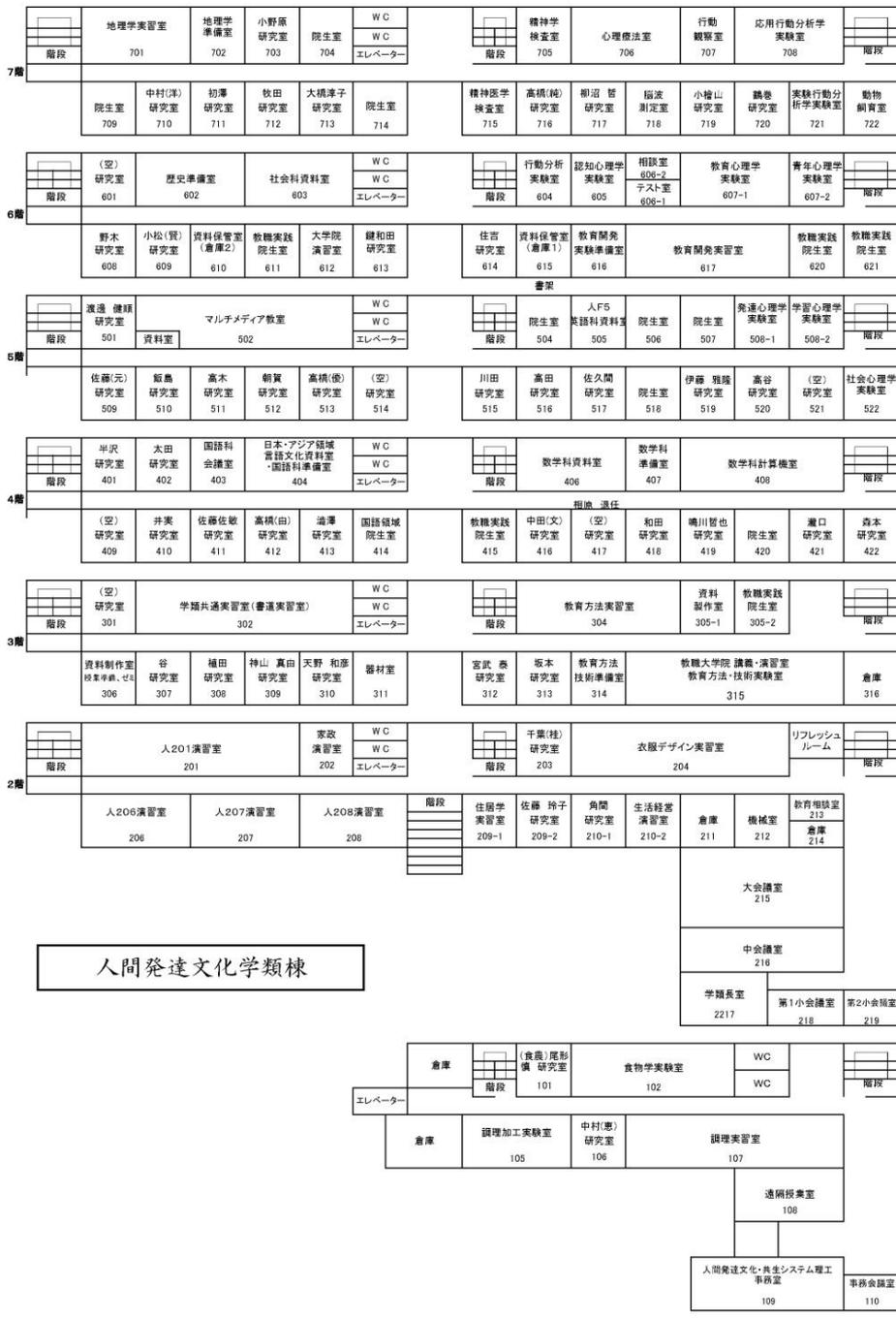
## 福島大学所在地案内図



# 構内建物配置図







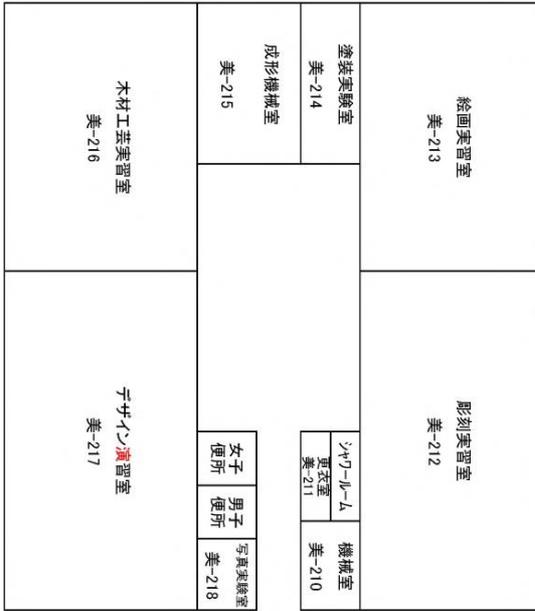
# 行政政策学類棟

8階		臨時 法学補助 資料室 801	金井 研究室 802	(農)渡部 研究室 803	山崎 研究室 804	上床 研究室 805	福島 研究室 806	法合 資料室 807	ホール	WC (女) (男) エレベーター	(農)石井 研究室 808	高橋(有) 研究室 809	小規模 自治体 研究所 810
	非常階段	垣見 研究室 811	長谷川 研究室 812	(農)渡部 研究室 813	阪本 研究室 814	鈴木(め) 研究室 815	中里 研究室 816	合同研究室 817		階段	金須学 研究室 818	塩谷 研究室 819	富田 研究室 820
7階		西田 研究室 701	功刀 研究室 702	岸見 研究室 703	岩崎 研究室 704	大黒 研究室 705	慶本 研究室 706	村上 研究室 707	ホール	WC (女) (男) エレベーター	黒崎 研究室 708	比較文化 情報 資料室 709	坂本 研究室 710
	非常階段	佐々木 研究室 711	プロジェクト 資料室 712	行政情報 資料室 713	荒木田 研究室 714	田村 研究室 715	湯川野城 学連携 プロジェクト 716	合同研究室 717		階段	久我 研究室 718	後藤 研究室 719	照沼 研究室 720
6階		院生研究室 601	院生研究室 602	地域特別研究実習室 603	院生印刷室 615	ホール			WC (女) (男) エレベーター	金敬雄 研究室 604	真歩仁 研究室 605	鈴木(典) 研究室 606	
	非常階段	(農)星月 研究室 607	研究室 608	今西 研究室 609	講義団地の まむづり 行動 610	社会福祉・社会調査 実習室 611	院生研究室 612		階段	合同研究室 613	(農)大槻 研究室 614		
5階		高橋(準) 研究室 501	新藤 研究室 502	板倉 研究室 503	阿部 研究室 504	歴史 資料室 505	行政社会 学会室	倉庫1	ホール	WC (女) (男) エレベーター	考古学 実習室 509	菊地 研究室 510	
	非常階段	浅野 研究室 511	徳竹 研究室 512	(農)窪田 研究室 513	古文書学 ・博物館 実習準備室 514	古文書学・博物館 実習室 515	社会教育地域社会 実習室 516		階段	(農)沖野千 研究室 517	<b>行518 演習室</b>		
4階		<b>行401 演習室</b>	<b>行402 演習室</b>	<b>行403 演習室</b>	<b>行404 演習室</b>	ホール			WC (女) (男) エレベーター	<b>行405 演習室</b>			
	非常階段	<b>行406 演習室</b>	<b>行407 演習室</b>	<b>行408 演習室</b>	<b>行409 演習室</b>				階段	<b>行410 演習室</b>	<b>行411 演習室</b>		
3階		<b>行301 演習室</b>	<b>行302 演習室</b>	<b>行303 演習室</b>	WC (女)	ホール			WC (女) (男) エレベーター	中会議室			
	非常階段	貴重資料 保管室 308	<b>行309 演習室</b>	<b>行310 演習室</b>	<b>視聴覚室</b>				階段	<b>第二視聴覚室</b>			
2階		学類長室	非常勤 講師控室 (課外室)	応接室	空席	WC (女) (男) エレベーター	教員 印刷室	<b>教員控室</b>					
	非常階段	<b>学生談話室</b>		ボレ タリ ク ラ イ ス ト			機械室	<b>学生印刷室</b>	会議準備室				
1階		電気設備室	倉庫4	WC (男)	WC (障害者用)	小会議室		職員休憩室					
	非常階段	考古学資料 撮影分析室	機械設備室	倉庫2	階段	倉庫3	文書庫	<b>特別研究教育室(法証教室)</b>					
		<b>行112演習室</b>	<b>行113演習室</b>										

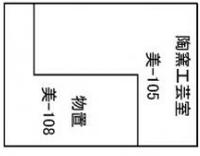
経済学類棟へ  
経済学類棟へ

# 美術棟

2階



1階



1階

2階



1階

